

令和7年度全国学力・学習状況調査 中富良野町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:1校、児童数:34人 中学校数:1校、生徒数:42人

教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

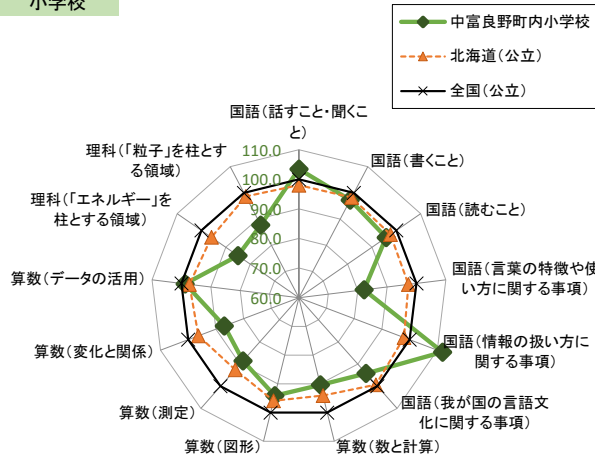
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

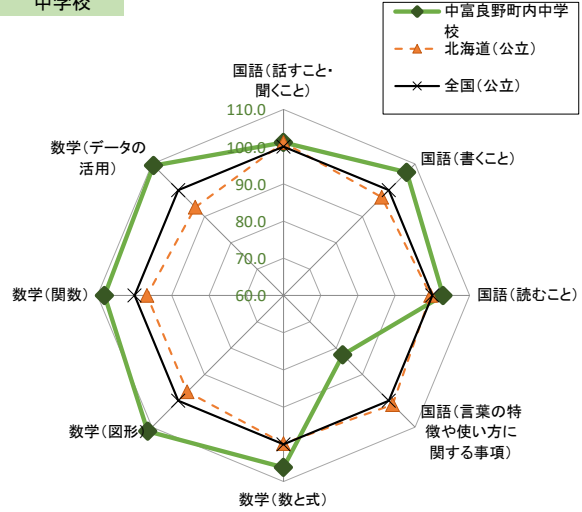
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
中富良野町	64	53	53	55	52	494
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

※中学校理科は平均IRTスコア

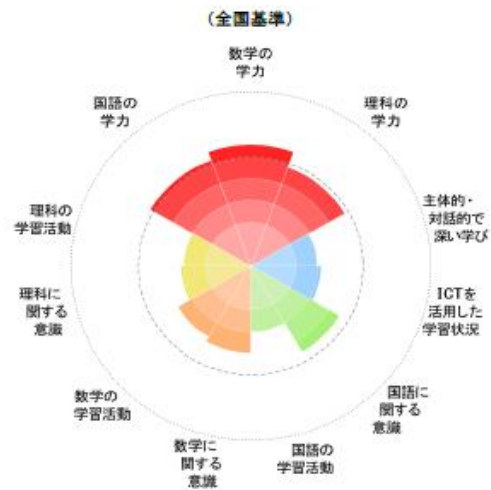
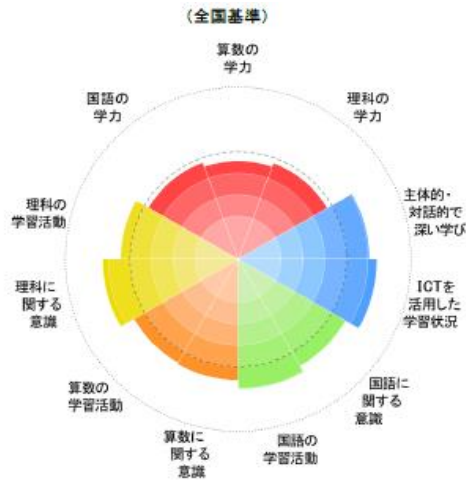
小学校



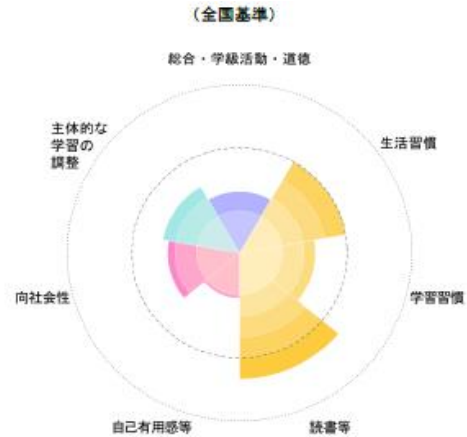
中学校



【教科を中心とした学力・学習状況】



【その他の学力・学習状況(学習習慣・自己有用感等)】

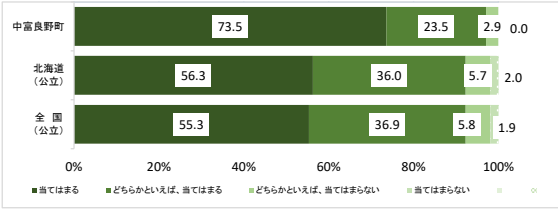


質問紙の状況

小学校

<児童質問>

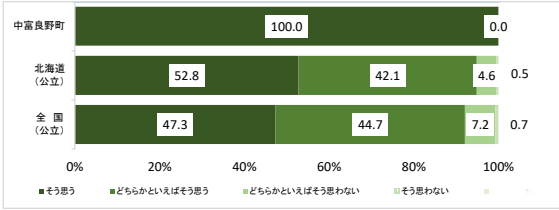
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



中学校

<学校質問>

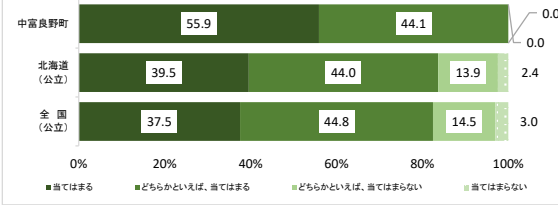
調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく落ち着いていると思いますか



小学校

<児童質問>

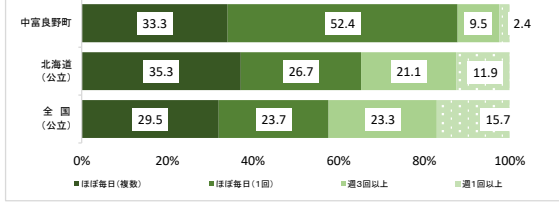
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



中学校

<生徒質問>

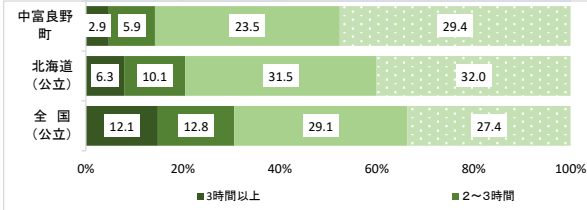
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



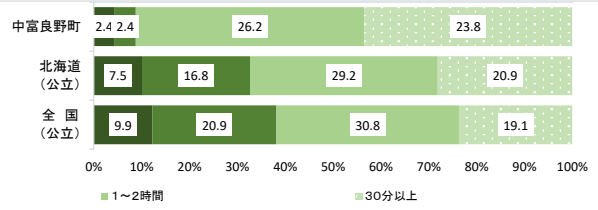
小学校

<児童生徒質問>

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



中学校



上記結果の考えられる要因の分析

小学校

教師が自分のよいところを認めてくれていると感じる指導がなされ、PC・タブレットなどICT機器を日常活用したり、総合的な学習の時間で自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだりしたことにより、「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」などの「教科やその他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)」の多くの項目が全国を上回るとともに、国語の1領域、1事項で平均正答率が全国及び全道を上回り、算数の1領域で全道を上回ったと考えられる。

中学校

学校質問紙における「国語の授業で生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じていること」「数学の授業で学習上つまずいた生徒に対する対応を行えたこと」「授業中私語が少なく落ち着いて学習している状況」や、生徒質問紙における「生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したこと」「学校の授業以外に読書をする時間の習慣化」により、国語の3領域と数学の4領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中富良野町の学力向上策

- ◎ 次年度からの義務教育学校のスタートに向けて、教科教育での個別最適な学びを通して確実な知識を習得することを土台に、特別活動や総合的な学習の時間などで社会課題や生活課題の当事者として、自から多くの人と対話する協働的な学びを通して、知識の習得と探求力の鍛錬をらせん状に循環しながら自らの能力とスキルを高める小中9年間の一貫した教育課程の構築
- ◎ 学力の個人差や困り感のある児童生徒の状況に応じた指導体制の構築及びタブレットドリルやオンライン学習等のICTの効果的な活用
- ◎ 「コミュニケーションによる学び」「つくることによる学び」「創造的な学び」の実現に向けた小中合同による授業改善に向けた研究会の開催
- ◎ 学校の授業時間以外に、家庭やそれ以外の場所で学習する時間や内容の指導工夫改善

【WEBページ】



(R7.10掲載)